

縁を生かす

生徒の皆さん、4月6日（火）から始まった新たな学校生活は、皆さんにとってどのようなものだったでしょうか。ワクワクすること、ドキドキすることなどはありましたか。

1年生は、どのくらいの人とお話をしましたか。2年生は、新しい学級の雰囲気（ふんいき）はどうか。居心地（いごこち）はいいですか。3年生は、まわりの人たちの顔つきはどうか。今までと変わらないように見えて、実は目が輝（かがや）いているということはありませんか。

皆さんが、学校生活の中で接する先生方は何人になるのでしょうか。学級担任の先生、教科担当の先生、部活動顧問（こもん）の先生など、かなりの数になることと思います。すべての先生方が、皆さんにとっては大切な出会いとなります。

いろいろな先生がいるでしょう。それぞれに持ち味や個性があります。それがいいのです。皆さんは、多くの先生方と接することで、いろいろなことを吸収し、刺激を受け、成長していくのです。

出会いは、偶然（ぐうぜん）のように思えますが、「縁（えん）」でもあります。縁とは、そのようになるめぐりあわせのことです。出会うことは決まっていたのです。出会いには意味があったのです。ぜひ、偶然のように思える出会いを縁にしたいものです。皆さんには縁を生かしてほしいと思います。

皆さんの人生には、これから数多くの出会いが待っています。その中には、縁と思えるものも出てくるでしょう。それを生かすことができるかどうかは、とても大切なことです。縁を生かせる人には、明るい未来が待っています。

では、中学生である皆さんは、どうすれば出会いを縁にできるのでしょうか。そのためには、まず先生方の話を聴（き）き、その考えや思いを自分なりに受け止めてみることです。「そうかあ」「なるほど」「そうだよなあ」などと考えてみることです。

こういう人がいます。最初から心を閉（と）ざしてしまう人、話を聴こうとしない人です。せっかくの出会いが、その人にとっての縁にはなりません。目の前のチャンスを逃（のが）してしまうことになります。もったいないことです。

人は縁を生かしながら、多くの人たちのお世話になりながら、人として成長していきます。今は4月、季節は春、自分の心を開いて出会いを生かすときです。来週からの皆さんの学校生活が、とても楽しみです。